

— 大仙市社会福祉協議会太田支所だより —

発行/社会福祉法人 大仙市社会福祉協議会 太田支所
大仙市太田町横沢字窪関南501 保健センター内
TEL 88-2940 FAX 88-2941

一般会員会費 1,000円以上

市内に居住し、社会福祉協議会の趣旨、目的、事業に賛同する世帯及び個人

法人・団体会費 5,000円以上

市内に所在し、社会福祉協議会の趣旨、目的、事業に賛同する団体、企業、社会福祉施設等

社会福祉協議会の 会費にご協力下さい

市民の皆様からいただく社会福祉協議会の会費は、地域の福祉を進めるための重要な財源となっています。左の写真は、田ノ尻老人親睦会の花見会が部落会館で行われた時の様子です。

当日は、60歳以上の方を中心に18人が参加されました。社会福祉協議会の職員の事業説明の後、皆さんで歓談しながらお弁当を食べました。このような会食会や交流会は、地域支え合い活動推進事業

の助成対象となります。そして、皆様からいただいた会費で実施させていただいております。なお、会費は各部落の福祉員がいただきに伺いますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲部落の人との世間話に花が咲きます

東小で高齢者疑似体験

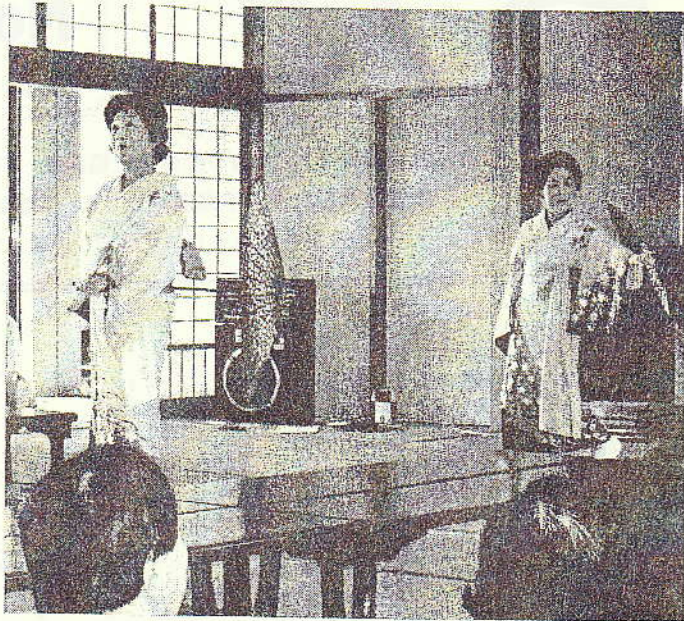
6月9日に太田東小学校で高齢者疑似体験の授業が行われ、4年生の児童19人が3班に分かれて体の不自由な方の体験をしました。

体を動きにくくするために、足首や膝や肘の関節をサポートで固定して重りをつけてあまり動かすことができないようにしたり、視力を弱くするためにサングラスを掛けたりして、階段の登り下りや壁に貼っているものを読めるかどうか確かめました。

体験後、児童からは「サポーターや重りは体から外すことをできるが、お年寄りには体から外すことができないので大変だ。」などの意見が寄せられました。実際に体験することで、体の不自由な高齢者についての理解を深めることができたようでした。



▲階段を上るのも介助が必要です



▲椿の会の皆さんの踊りに見とれていました

中里温泉で 椿の会が踊る

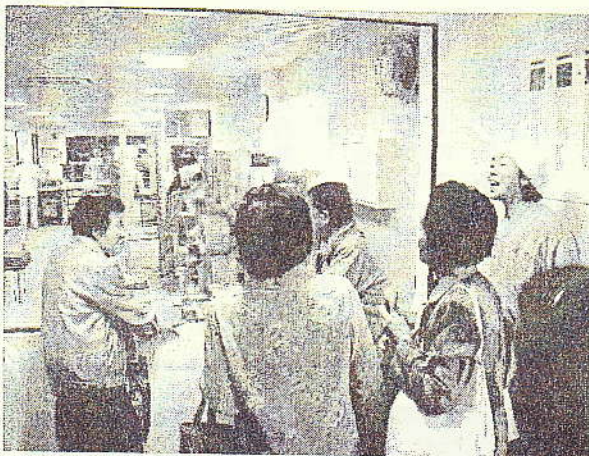
5月17日に一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方を対象に、中里温泉お楽しみ開放日が開催されました。

今回は、椿の会の皆さんが踊りを披露してくださいました。椿の会は、現在会員が10名で、主に福祉施設でボランティア活動をしています。そして、毎週日曜日に練習をしているそうです。

会員の小松キヨさんは「テレビなどに関心の無かった施設を利用されている方が、私達が踊る時は手を叩いたり、身を乗り出したりしてくれる。そんな時は、踊りの力を感じる。」と話していました。

社会福祉協議会太田支所 イベント紹介

一人暮らし高齢者の集い



▲お菓子の製造工程に目がくぎ付けです

5月27日に一人暮らし高齢者視察研修会が行われました。当日は、32名の方が参加し、角館の生もろこしの店、唐土庵に行ってきました。

唐土庵では、ガラス越しに製造作業を見せてもらいました。店の人の説明では、普通のもろこしは乾燥をさせたり、焼き目を付けたりする作業がありますが、生もろこしはその作業がないので、固くなく食べやすいのが特徴との話でした。

また、説明の後、お店で試食させてもらいました。参加者の中には、「友達さも買っていぐ」という方もおり、ほとんどの人が買っていました。

春の防火診断



▲消防署員のお話を真剣に聞いていました

4月7日に大曲消防署東分署の職員と、一人暮らし高齢者防火診断を行いました。

これは、消防署で年2回、春と秋に一人暮らし高齢者のお宅に伺い、火の元の危ない所はないかを調べるものです。消防署員は「ストーブの上に洗濯物を干さないように」「たこ足配線はなるべくしないように」などと注意を促していました。

また、平成23年5月31日まで住宅用火災警報機の設置が義務づけられるため、火災警報機はどこで買うことができるのか、いくらぐらいするのかなど疑問に思ったことを熱心に聞いていました。